

# ワンちゃん ネコちゃん 春から夏にかけて多い病気

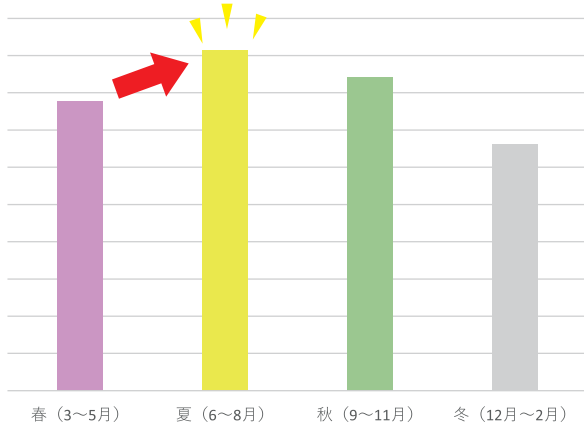


春から夏にかけては、だんだんと日が長くなって気温も上がってくる時期です。暖かくなってくるとペットたちも活動的になってきます。それと同時にノミやダニ、蚊などの虫や細菌や真菌（カビ）なども増殖しやすい時期になります。春から夏にかけて動物病院での診察でよく診る病気はこちらです。

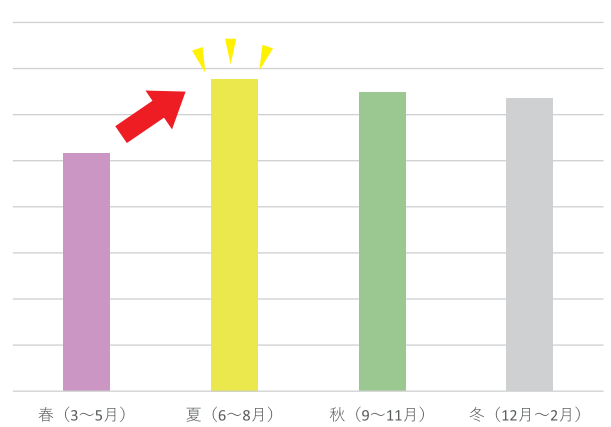
## ★皮膚病



ワンちゃん  
皮膚疾患全般 保険金請求金額推移



ネコちゃん  
皮膚疾患全般 保険金請求金額推移



※保険金請求金額は、犬（小型犬・中型犬・大型犬）、猫それぞれの契約者よりの保険金請求金額の合計請求金額。

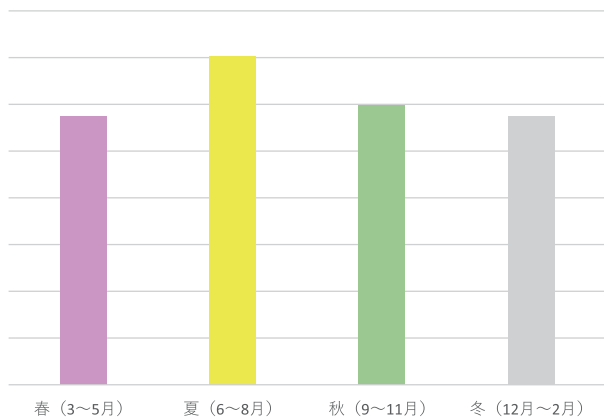
この時期動物病院で最も多く見られるのが皮膚病や外耳炎です。日本は梅雨から夏にかけて湿度と気温が高くなるため、細菌や真菌が増えやすい環境になります。

グラフにある通り、犬猫ともに春から夏にかけて皮膚病が急増します。皮膚病は原因によっていくつか分類されます。代表的な症状を記しますが、原因が複数のこともあるので症状は様々です。

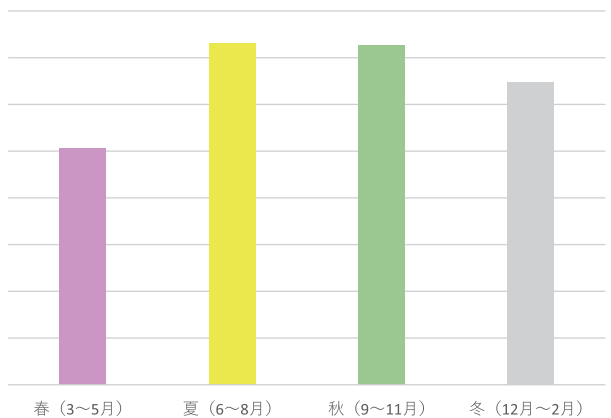
## 細菌性皮膚炎 / 真菌性皮膚炎



ワンちゃん細菌性皮膚炎・真菌性皮膚炎 請求金額推移



ネコちゃん細菌性皮膚炎・真菌性皮膚炎 請求金額推移



※保険金請求金額は、犬（小型犬・中型犬・大型犬）、猫それぞれの契約者よりの保険金請求金額の合計請求金額。

## 細菌性皮膚炎

ブドウ球菌や大腸菌などが皮膚の表面で増えることによって発症します。白や黄色のカサブタ状のものが毛の根元に出てカサブタと一緒に毛が抜けることがあります。急性湿疹という急激に進むものでは、一晩で広範囲に毛が抜けてグチュグチュした状態になることもあります。

## 真菌性皮膚炎

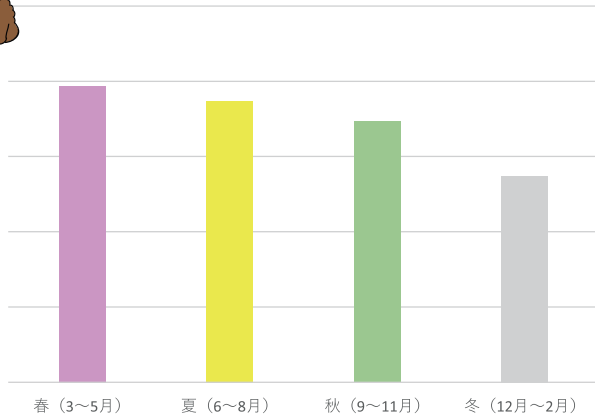
糸状菌やマラセチアというカビの一種が原因になることが多いです。

皮膚糸状菌症では円形に脱毛が広がっていくのが特徴です。糸状菌は人間にも感染する可能性があります。マラセチア性皮膚炎は皮脂の多い犬種で特になりやすく、独特の脂臭い匂いがします。

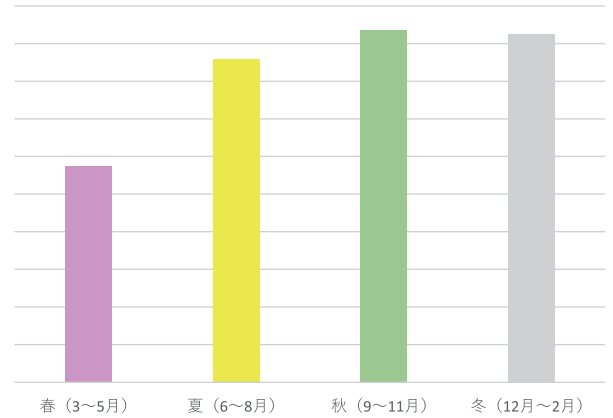
## ノミアレルギー性皮膚炎



ワンちゃん ノミダニ感染症 請求金額推移



ネコちゃん ノミダニ感染症 請求金額推移



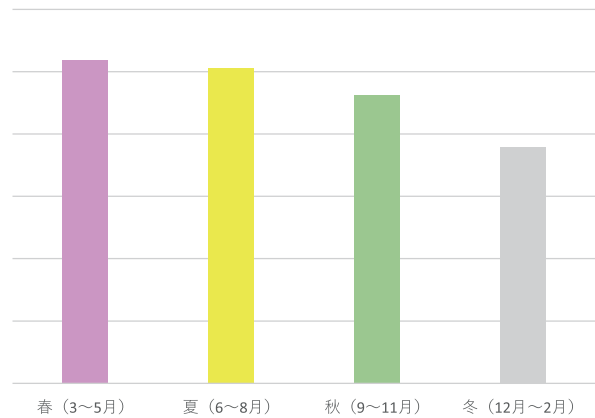
※保険金請求金額は、犬（小型犬・中型犬・大型犬）、猫それぞれの契約者よりの保険金請求金額の合計請求金額。

ノミに咬まれることによってかゆみと皮膚の赤みなどがでる病気です。

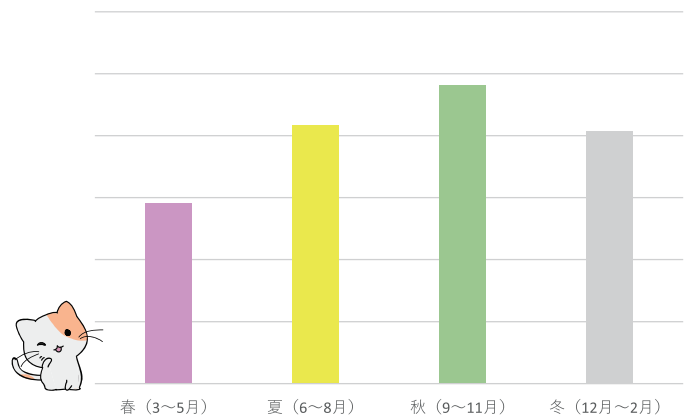
全身に粟粒状の湿疹がでることもあります。一箇所でもノミに咬まれると発症する可能性があるため、動物病院で処方されるノミ・ダニ予防薬を利用してしっかりと予防することが大切です。

## ★外耳炎

ワンちゃん 外耳炎 請求金額推移



ネコちゃん 外耳炎 請求金額推移



※保険金請求金額は、犬（小型犬・中型犬・大型犬）、猫それぞれの契約者よりの保険金請求金額の合計請求金額。

細菌やマラセチアが増えることによって黄色や茶色の耳垢が増えたり、耳の中が赤くなってかゆみが出たりします。耳を掻く仕草や、頭を振る動作を多くしたら要注意です。特にタレ耳の犬種や猫種での発生が多いです。

## 予防と治療

皮膚病の予防には清潔と乾燥が大切です。細菌や真菌が増えにくくするためにブラッシングやトリミングなどで皮膚の通気を良くする、クーラーや除湿機を使い環境中の温度や湿度を下げる、殺菌成分の入ったシャンプーで定期的に洗うなどで予防しましょう。

症状がでているときには抗生剤や抗真菌薬、かゆみ止めなどが処方されます。場所や範囲などによって飲み薬や塗り薬などを使います。



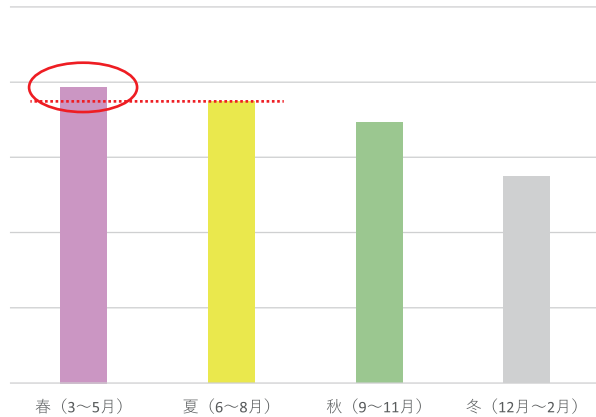
## ワン！ポイントアドバイス

### ワンちゃん ノミダニ感染症 / 外耳炎

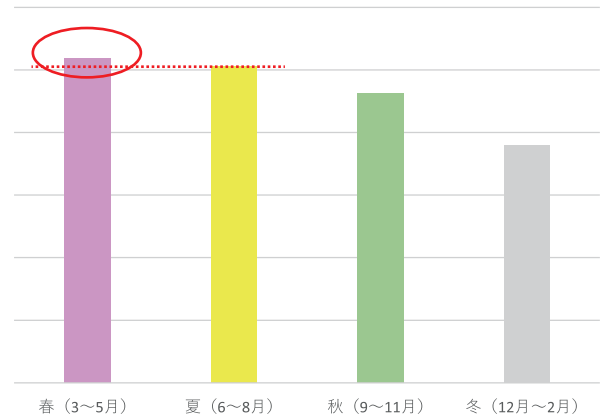
犬のノミ・ダニ感染症や外耳炎は夏よりも春の方が多くなっています。

これは飼い主さんが注意するより意外と早く、ノミやダニや外耳炎のシーズンが始まっていることを示しています。

ワンちゃん ノミ・ダニ感染症 請求金額推移



ワンちゃん 外耳炎 請求金額推移

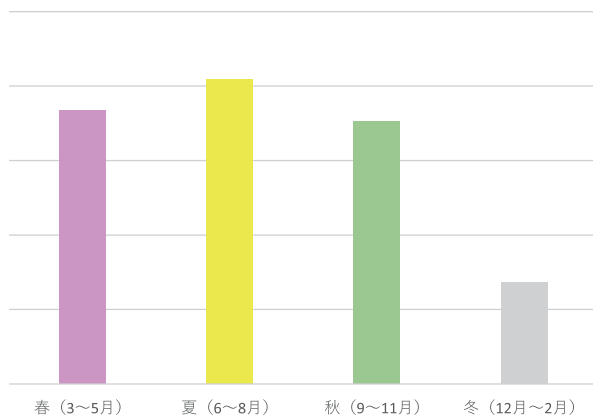


※保険金請求金額は、犬（小型犬・中型犬・大型犬でそれぞれの契約者よりの保険金請求金額の合計請求金額。

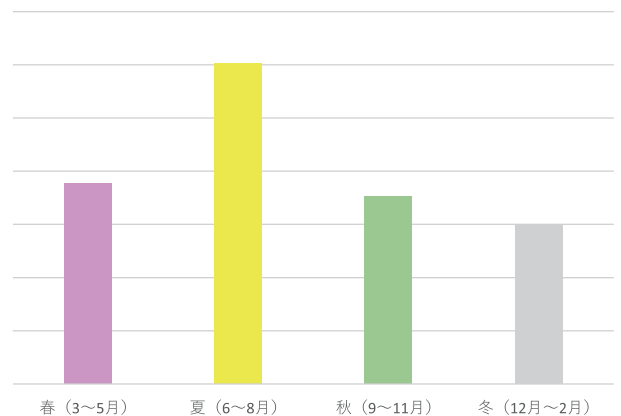
## ★★★夏に要注意！暑い季節特有の症状

### ★熱中症 / 脱水症

ワンちゃん 熱中症・脱水症 請求金額推移



ネコちゃん 熱中症・脱水症 請求金額推移



※保険金請求金額は、犬（小型犬・中型犬・大型犬）、猫それぞれの契約者よりの保険金請求金額の合計請求金額。

### 熱中症



犬猫は人間のように汗をかけず、体温が上がりやすいため少しの温度上昇で熱中症のリスクがあります。高体温や呼吸数の増加、苦しそうな呼吸や元気消失、食欲低下などがあつたら注意が必要です。応急処置としては、濡れたタオルで全身を覆い、うちわなどで冷たい風を当ててあげましょう。首や脇の下、足の付根などの血管が近いところを保冷剤などで冷やしてあげることも効果的です。急変の可能性があるため、なるべく早く動物病院を受診しましょう。

## 予防と治療

予防としては、日中の暑い時間の散歩を避ける、一日中クーラーをつけて温度管理をする、ネックバンドや濡らした服などで身体を冷やすなどをするとよいでしょう。

毛量の多い子や短頭種で発生のリスクが上がります。治療は体温を下げるのが基本ですが、状態が悪い場合は緊急薬や点滴をいれて治療を行います。死に至ることもあるので予防するのが重要です。

## 脱水症

夏場は気温が上がるので通常飲水量が増えますが、あまり変わらない子もいます。

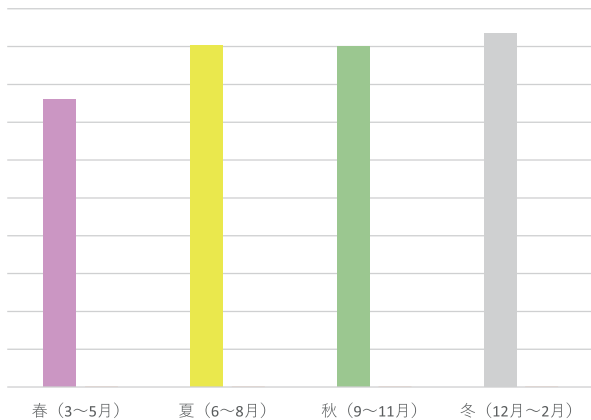
気温が高いと口を開けての呼吸からだけでなく、体表からも水分が蒸発していくので、脱水症状になりやすいです。脱水になると食欲不振や元気消失、嘔吐、下痢などの症状がみられます。

## 予防と治療

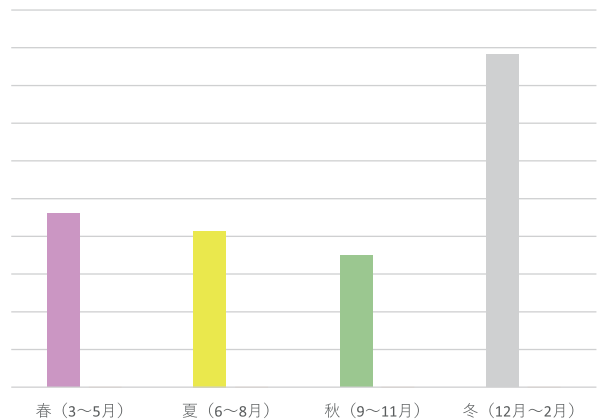
水分をなるべくとってもらうために、フードをふやかしたりウェットのフードを与えるのもよいでしょう。気温が高いと脱水しやすいのでクーラーを常につけていただくのも効果的です。

## ★食中毒・胃腸炎

ワンちゃん 食中毒・細菌性胃腸炎等 請求金額推移



ネコちゃん 食中毒・細菌性胃腸炎等 請求金額推移



※保険金請求金額は、犬（小型犬・中型犬・大型犬）、猫それぞれの契約者よりの保険金請求金額の合計請求金額。

夏場はフードが傷みやすく、細菌や毒素によって食中毒になることがあります。症状としては元気・食欲の低下、嘔吐や下痢などです。

## 予防と治療

常温で置いておくことで食事の細菌が増えますので、特にウェットフードやふやかしたフードは食べたらすぐに下げるようにしましょう。ドライフードは傷みにくいですが、湿気が多い時期でもあるので半日経ったら交換しましょう。症状によって吐き気止めや下痢止めで治療をしますが、重症の場合は点滴入院や抗生剤の投与が必要になるかもしれません。

## ★★★春から夏にかけて注意したいその他の症状

### ★マダニ感染症

春から夏にかけてはマダニが一年がもっとも活動的になります。散歩などで芝生や茂みに入ったり、アウトドアで散策したりするとお腹や顎の下など皮膚の薄い部分に飛びのって吸血を始めます。鋭い顎で食いついたあとにセメントのような物質でがっちり食い込むので、むやみに取ると頭部だけ残ってしまうことがあります。付着に気づいたら無理せず動物病院で取ってもらいましょう。吸血したマダニは1cm以上の大きさになることもあります。

#### 予防と治療

月に一回ノミ・ダニの予防薬を背中に垂らしたり飲ませることによって予防できます。マダニが媒介するSFTSウイルスは人間でも高い致死率がありますので、付いているものを潰したりは絶対にしないでください。動物病院では頭部を残さないように器具をつかって取り除くか、予防薬を投与して落ちるのを待ちます。

### ★フィラリア感染症

フィラリア感染症は心臓に寄生する寄生虫が引き起こす病気です。感染した動物の血を蚊が吸うことによって蚊の体内に取り込まれ、他の動物を吸血した際に小虫が血管の中に入っていきます。小虫が成長すると最終的に心臓に寄生し、咳、呼吸促迫、食欲元気低下などの症状を出します。

#### 予防と治療

フィラリアは毎月予防薬を飲ませることで100%予防できる病気です。毎年初回の投与の前に血液検査を行い、寄生虫がいないこと確認してから投与を始めましょう。万が一寄生しているときに投与した場合命に関わる場合があります。



#### まとめ

春から夏にかけてはやはり気温と湿度に関わる病気が増えます。なるべく快適な環境で過ごせるように居住環境を見直してあげてください。

気温が30℃を超えるような日はなるべくクーラーをかけた部屋で過ごしてもらった方がいいでしょう。散歩に行くとしても日が昇ってすぐの早朝か、日が沈んでから気温が落ち着いてからの方が安心です。夏バテなどで食欲が落ちる場合もあるので様子をよくみて、気になることがあったら早めに動物病院に相談しましょう。

3月から5月でもすでにノミダニの感染症や外耳炎の症状が多く来院されています。暖かくなり始めたら早めにノミダニ予防や耳のチェックをするといいでしょう。

ワンちゃん  
ネコちゃん

# 春から夏にかけて多い病気



記事製作・監修：獣医師 天野 謙一郎

各種データ作成・発行：SBI プリズム少額短期保険株式会社

※当記事の内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。

JAC-AC0034-01